

2026年3月26日

BIPROGY 株式会社

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社

朝日生命「みんなのあんしん 100年プロジェクト」の 事業構想から新サービスの提供までをワンストップで支援

BIPROGY とケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ（以下 ケンブリッジ）は、朝日生命保険相互会社（以下 朝日生命）が 2026 年 4 月から提供を開始する「みんなのあんしん 100 年プロジェクト」（以下 本プロジェクト）において、介護・認知症領域における深刻な社会課題の解決に向けた事業構想の策定段階から参画し、プロジェクトの立ち上げ、新サービスのポータルサイト構築に至るまで、一貫して朝日生命の事業創出を支えてきました。

ポータルサイトには、分散型企业間データ流通基盤「Dot to Dot」^注を基盤として提供しており、複数の事業者間における利用者データの安心・安全な連携を実現しています。

BIPROGY とケンブリッジは、「何を実現するか」という事業の本質的な問いから朝日生命と共に議論を積み重ね、データエコシステム事業創出で培った知見と、BIPROGY グループの実行力を掛け合わせることで、構想を確かな社会実装へ具現化しました。

【背景】

日本の要支援・要介護認定者数は 2023 年時点で約 700 万人にのぼり、2030 年には約 950 万人に達すると見込まれています^{※1}。さらに、軽度認知障害（MCI）を含めると 2030 年には 65 歳以上の約 3 人に 1 人が該当すると推計されており^{※2}、これに伴う認知症による資産凍結額は約 318 兆円規模に達する^{※3}とも言われています。また、仕事をしながら家族の介護をするビジネスケアラーは仕事と介護の両立が難しく、2030 年には 9 兆円を超える経済損失が推計されていません^{※4}。

このような深刻な社会課題に対し、朝日生命は「介護の悩みは給付金（金銭的保障）だけでは解決しない」という現実に向き合い、包括的な介護ソリューションを提供すべく、「みんなのあんしん 100 年プロジェクト」を立ち上げました。

※1 厚生労働省「令和 4 年度 介護保険事業状況報告（年報）」および内閣府「令和 6 年版高齢社会白書」より朝日生命にて推計

※2 65 歳以上を対象として各年齢の認知症有病率が上昇する場合の数値を使用 内閣府「令和 6 年版 高齢社会白書」より朝日生命にて推計

※3 三井住友信託銀行「調査月報 2022 年 5 月号 膨らむ認知症高齢者の保有資産」

※4 経済産業省「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」



【みんなのあんしん 100 年プロジェクトの概要】

早めの気づきからお金の困りごと、家族のケア、情報提供まで包括的にサポートする「朝日の介護認知症エコシステム」を構築します。専用ポータルサイト「みんなのあんしん介護認知症ナビ」と、営業職員による伴走型のフォローアップで「介護・認知症のことなら朝日生命に相談すれば安心だ」と思われる存在を目指します。



【BIPROGY グループの支援内容】

事業構想の策定からポータルサイトの開発までをワンストップで提供し、これまで培ってきたデータエコシステム事業創出の知見を結集することで、短期間の開発を実現しました。また、分散型企業間データ流通基盤「Dot to Dot」を基盤として、複数の事業者間における利用者データの安心・安全な連携を実現しています。

BIPROGY とケンブリッジは、以下の領域で支援を行いました。

1. プロジェクト構想のゼロからの共創と事業伴走支援

BIPROGY は、2023 年に実施した企業間のデータ連携で生活者の課題解決を目指す新規事業開発プロジェクト「DiCE (ダイス/Digital Chain Ecosystem)」において、介護・認知症エコシステム構想を策定し、その実現に向けて朝日生命と共に歩んできました。

2. これまで培ったデータエコシステム事業創出の経験や仕組みを活用した支援

参画する企業が共通目標として掲げる社会課題の解決を実現すべく、BIPROGY が培ってきた価値創出プラットフォームの考え方や仕組みを活用しました。通常のポータルサイトとは異なり、複数の事業者がデータを連携し、利用者に価値を提供できる仕組みを採用しています。企業間のデータ連携については、さまざまなエコシステムで実績のある分散型企業間データ流通基盤「Dot to Dot」を活用することで、利用者の個人データを分散管理しながら安心・安全に活用できる仕組みを提供します。「Dot to Dot」は今後も介護・医療・金融など複数領域への横断的な展開を見据えており、本プロジェクトはその先進事例として位置づけています。

3. BIPROGY グループの力を結集した着実なプロジェクト推進と品質管理

朝日生命だけでなく、多くの外部連携先が関与する複雑な開発プロジェクトにおいて、ケンブリッジが保有するプロジェクト推進ノウハウを生かすことで、遅滞のないプロジェクト完遂を実現しました。

【今後の取り組み】

今後も BIPROGY は、グループ会社と連携を図り、エコシステム構想の推進および企業との「共創」を進め、さまざまな企業と共に社会課題解決に貢献していきます。

ケンブリッジは、多様な支援実績に基づく独自の的方法論「Cambridge RAD」を活用し、グループ各社と連携しながら、事業創出を含む変革の構想から実行に至る取り組みを共創型で支援することで、今後も企業のプロジェクトに貢献していきます。

以 上

注：分散型企業間データ流通基盤「Dot to Dot」

データの個人主権の実現を支える分散型パーソナルデータ流通基盤。生活者のパーソナルデータを複数のアプリ間で安全に連携させるプラットフォームです。

■ 関連リンク：

- ・朝日生命保険相互会社 <https://www.asahi-life.co.jp/>
- ・分散型企業間データ流通基盤「Dot to Dot」 <https://biz.dot2dot.life/>
- ・2023年10月20日付 BIPROGY ニュースリリース
事業開発プロジェクト「DiCE」を通じて 企業連携を前提とした4つの事業構想を創出
https://www.biprogy.com/pdf/news/nr_231020.pdf

※Dot to Dot は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

Vision2030

わたしたちは、デジタルコモンズを
誰もが幸せに暮らせる社会づくりを推進するしくみに育てていきます

私たちは志や共感をベースに持続可能な社会の実現を可能にするために、
さまざまなサービスやノウハウをデジタルの力でつなぎ合わせ、
社会の共有財であるデジタルコモンズとして創造し、提供していきたいと考えています。
その実現に向けて、ビジネスエコシステムのパートナーと共に
多様な業界、業種、マーケットの視点から社会に貢献することにより、新たな価値やマーケットの創出につなげていきます。